

□ーカル

三重L - D M A T 隊員養成研修について



背景

2

○三重県内における日本DMAT保有チーム数の減少

38隊(R2.4.1) → 29隊(R4.4.1) **2年間で9隊減少**

年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
チーム数	31	38	33	29	31

※例年年度末に実施している各病院の4月時点のDMAT保有数調査より

(主な原因)

新型コロナウイルス感染症の影響で、国の養成研修の規模が縮小（一部中止）されたことが主な要因と想定される。

年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
受講枠(人)	29	5	5	17	12

背景

- 各病院における保有数のばらつき
チーム保有数が1隊の病院が多く、国の養成研修受講の目的が災害拠点病院の要件維持のためになってしまいかねない状況。

(令和4年4月時点)

チーム数 (計29隊)	病院数 (計17HP)
4チーム	1
3チーム	2
2チーム	5
1チーム	9

※例年年度末に実施している各病院の4月時点のDMAT保有数調査より

受講枠が減少している理由

- ・ 優先順位を考慮した配分

内閣府が公表する「南海トラフ地震における具体的な
応急対策活動に関する計画」において、被害が想定されていない
18道県に優先枠を配分（もちろん三重は含まれていない）。

- ・ 2. 5日研修枠の増加

ローカルDMATを養成している都道府県に対して、各都道府県の均等枠（4日研修枠）に加え、2.5日枠を追加で配分

三重 L - D M A T 隊員養成研修の内容

- ▶ 事業実施期間：令和5年～令和7年（3カ年計画）
- ▶ 今年度の日程：令和6年1月13日（土）～14日（日）
- ▶ 対象者：災害拠点病院に所属する医師、看護師、事務・技術職等
- ▶ 委託先：松阪中央総合病院
- ▶ 募集人数：30名／年（医師6名、看護師12名、業務調整員12名）
⇒個人単位で募集、チーム単位でも可
- ▶ 目的：近年発生する可能性が高まっている大規模災害等に備え、県内のD M A Tを充足させるため、三重県独自の養成研修を実施することにより、災害医療提供体制の強化を行う。

狙い・効果

- ▶ ・災害時の急性期に迅速医療救護活動ができる人材の育成を行うことにより、県内全域の災害医療提供体制の強化につながる。
- ▶ ・国のD M A T養成研修（4日）に加え、県独自の研修受講が要件となっている養成研修（2.5日）も受講できるようになるため、国の研修受講枠が増え、日本D M A T隊員の育成にもつながる。

今後のスケジュール（案）

令和5年8月下旬～	募集開始
～令和5年9月下旬	募集〆切 受講者調整
～令和5年10月上旬	受講者決定
令和5年11月～	事前課題配信（YouTube等を想定）
令和6年1月13日	
～14日	養成研修